

令和七年度

京都女子大学大学院 文学研究科

博士前期課程 史学専攻 入学試験（秋季）

専門科目試験問題（日本史）

（Ⅰ）（Ⅱ）は全員解答しなさい。（Ⅲ）（Ⅳ）は、どちらか
ひとつを選択して解答しなさい。

解答用紙のみ提出すること。

日本の歴史上、外国の国家制度を積極的に導入した時代と、比較的諸外国の影響を受けない時代があった。各時代において、いつどのような制度を取り入れ、あるいは受容しなかったのか。また、なぜこのような違いが生じるのか。適宜時期を区切り、具体的な国名や制度名を挙げつつ通史的に論じてください。

【答案用紙】

I

受験番号 ..

氏名
..[illegible]

【二】 次の歴史用語を、それぞれ七〇～一〇〇字で説明しなさい。

※解答は解答用紙に記すこと。

① 摂関政治

② 元寇

③ 寛政の改革

④ 下関条約

Ⅲ 次の史料を読んで後の問いに答えなさい。解答は解答用紙に記しなさい。

i 『日本書紀』卷二九天武天皇十四年（六八五）三月壬申《廿七日》

詔。諸国每家作仏舎。乃置仏像。及経。以礼拜供養。

ii 『日本書紀』卷二九天武天皇十四年（六八五）五月庚戌《五日》

射於南門。天皇幸于飛鳥寺以珍宝奉於仏而礼敬。

問1 本文（太字）を読み下して、訳しなさい。

問2 iの「家」とは、誰の（何の）家と考えられるか。そう考える理由も記せ。

問3 iiの「南門」とはどこの（何の）南門か。

問4 iiの「飛鳥寺」は誰によって創建されたか。また、造営に関わった寺工・露盤工・瓦工・画工などどこ（誰）から送られたか。

Ⅲ 解答用紙

受験番号

名前

問
1

i 読み下し

訳

ii 読み下し

訳

問
2

問
3

問
4

IV 次の史料は、1902 年（明治 35）に日本とある国の間で締結された協約の一部です。史料を読んで、後の各問いに答えなさい。

※ 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

第一条 両締約国ハ相互ニ清国及韓国ノ独立ヲ承認シタルヲ以テ、該二国孰レニ於テモ全然侵略的趨向^{すうこう}ニ制セラルルコトナキヲ声明ス、然レトモ両締約国ノ特別ナル利益ニ鑑ミ、即チ其利益タル^(ア) 大不列顛国ニ取りテハ主トシテ清国ニ関シ、又日本国ニ取りテハ其^{その}清国ニ於テ有スル利益ニ加フルニ、韓国ニ於テ政治上^{ならびに}並商業上及工業上各段ニ利益ヲ有スルヲ以テ、両締約国ハ若シ右等利益ニシテ^(イ) 別国ノ侵略的行動ニ由リ、若クハ^(ウ) 清国又ハ韓国ニ於テ両締約国孰レカ其臣民ノ生命及財産ヲ保護スル為メ干涉ヲ要スヘキ騒擾ノ発生ニ因リテ侵迫セラレタル場合ニハ、両締約国孰レモ該利益ヲ擁護スル為メ必要欠クヘカラサル措置ヲ執リ得ヘキコトヲ承認ス

第二条 若シ日本国又ハ^(ア) 大不列顛国ノ一方カ上記各自ノ利益ヲ防護スル上ニ於テ^(イ) 別国ト戦端ヲ開クニ至リタル時ハ、他ノ一方ノ締約国ハ厳正中立ヲ守リ併セテ其同盟国ニ対シテ他国カ交戦ニ加ハルヲ妨^{さまた}クルコトニ努ムヘシ

第三条 上記ノ場合ニ於テ若シ他ノ一国又ハ数国カ該同盟国ニ対シテ交戦ニ加ハル時ハ、他ノ締約国ハ来リテ援助ヲ与ヘ協同戦闘ニ当ルヘシ、講和モ亦^{また}該同盟国ト相互合意ノ上ニ於テ之ヲ為スヘシ

問1 下線（ア）の「大不列顛国」とは、どこの国のことですか。最も適当な国名を答えなさい。

問2 下線（イ）の「別国」とは、どこの国を指していますか。最も適当な国名を答えなさい。

問3 下線(ウ)は、過去に清国と朝鮮(後の韓国)で発生したような民衆反乱を指しています。

(1) 1894年に朝鮮南部で起きた農民蜂起の名称を答えなさい。

(2) 1900年に清国で起きた民衆反乱の名称を答えなさい。

問4 この協約は何と呼ばれていますか。最も適切な名称を答えなさい。

問5 この協約が締結された背景や、史料から読み取れる目的について説明しなさい。

問6 この協約は二度の改定の後、1923年に廃棄されました。1921年のワシントン会議で調印された、協約の破棄を宣言した条約は何ですか。条約の名称を答えなさい。

【Ⅳ 解答用紙】

問 1

問 2

問 3 (1)

(2)

問 4

問 5

問 6

受験番号		氏名	
------	--	----	--